

ネヘミ1: ネヘミヤ記 第1章

ネヘミ1:1 ヘカリヤの子ネヘミヤの言葉、第20年のキスレウの月に、わたしが首都スサにいた時、

ネヘミ1:2 わたしの兄弟のひとりハナニが数人の者と共にユダから来たので、わたしは捕囚免れて生き残ったユダヤ人の事およびエルサレムの事を尋ねた。

ネヘミ1:3 彼らはわたしに言った、"かの州で捕囚を免れて生き残った者は大いなる悩みと、はずかしめのうちにあり、エルサレムの城壁はくずされ、その門は火で焼かれたままであります"と。

ネヘミ1:4 わたしはこれらの言葉を聞いた時、すわって泣き、数日のあいだ嘆き悲しみ、断食して天の神の前に祈って、

ネヘミ1:5 言った、"天の神、主、おのれを愛し、その戒めを守る者には契約を守り、いつくしみを施される大いなる恐るべき神よ、

ネヘミ1:6 どうぞ耳を傾け、目を開いてしもべの祈を聞いてください。わたしは今、あなたのしもべであるイスラエルの子孫のために、昼も夜もみ前に祈り、われわれイスラエルの子孫が、あなたに対して犯した罪をざんげいたします。まことにわたしも、わたしの父の家も罪を犯しました。

ネヘミ1:7 われわれはあなたに対して大いに悪い事を行い、あなたのしもべモーセに命じられた戒めをも、定めをも、おきてをも守りませんでした。

ネヘミ1:8 どうじ、あなたのしもべモーセに命じられた言葉を思い起してください。すなわちあなたは言われました、'もしあなたがたが罪を犯すならば、わたしはあなたがたを、もろもろの民の間に散らす。

ネヘミ1:9 しかし、あなたがたがわたしに立ち返り、わたしの戒めを守って、これを行うならば、たといあなたがたのうちの散らされた者が、天の果にいても、わたしはそこから彼らを集め、わたしの名を住まわせるために選んだ所に連れて来る'と。

ネヘミ1:10 彼らは、あなたが大いなる力と強い手をもって、あがなわれたあなたのしもべ、あなたの民です。

ネヘミ1:11 主よ、どうぞしもべの祈と、あなたの名を忘れることを喜ぶあなたのしもべらの祈に耳を傾けてください。どうぞ、きょう、しもべを恵、この人の目の前であわれみを得させてください"。この時、わたしは王の給仕役であった。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ2: ネヘミヤ記 第2章

ネヘミ2:1 アルタシャスタ王の第20年、ニサンの月に、王の前に酒が出た時、わたしは酒をついで王にささげた。これまでわたしは王の前で悲しげな顔をしていたことはなかった。

ネヘミ2:2 王はわたしに言われた、"あなたは病気でもないのにどうして悲しげな顔をしているのか。何か心に悲しみをもっているにちがいない"。そこでわたしは大いに恐れて、

ネヘミ2:3 王に申しあげた、"どうぞ王よ、長生きされますように。わたしの先祖の墳墓の地であるあの町は荒廃し、その門が火で焼かれたままであるのに、どうしてわたしは悲しげな顔をしないでいられましょうか"。

ネヘミ2:4 王はわたしにむかって、"それでは、あなたは何を願うのか"と言われたので、わたしは天の神に祈って、

ネヘミ2:5 王に申しあげた、"もし王がよしとされ、しもべがあなたの前に恵みを得ますならば、どうかわたしを、ユダにあるわたしの先祖の墳墓の町につかわして、それを再建されてください"。

ネヘミ2:6 時に王妃もかたわらに座していたが、王はわたしに言われた、"あなたの旅の期間はどれほどですか。いつごろ帰ってきますか"。こうして王がわたしをつかわすことをよしとされたので、わたしは期間を定めて王に申しあげた。

ネヘミ2:7 わたしはまた王に申しあげた、"もし王がよしとされるならば、川向こうの州の知事たちに与える手紙をわたしに賜わり、わたしがユダに行きつくまで、彼らがわたしを通過させるようにしてください。

ネヘミ2:8 また王の山林を官吏するアサフに与える手紙をも賜わり、神殿に属する城の門を建てるため、また町の石がき、およびわたしの住むべき家を建てるために用いる材木をわたしに与えるようにしてください"。わたしの神がよくわたしを助けられたので、王はわたしの願いを許された。

ネヘミ2:9 そこでわたしは川向こうの州の知事たちの所へ行って、王の手紙を渡した。なお王は軍の長および騎兵をわたしと共につかわした。

ネヘミ2:10 ところがホロニびとサンバラテおよびアンモンびと奴隷トビヤはこれを聞き、イスラエルの子孫の福祉を求める人が来たというので、大いに感情を害した。

ネヘミ2:11 わたしはエルサレムに着いて、そこに3日滞在した後、

ネヘミ2:12 夜中に起き出た。数人の者がわたしに伴ったが、わたしは、神がエルサレムのためになそうとして、わたしの心に入れられたことを、だれにも告げ知らせず、またわたしが乗った獣のほかには、獣をつれて行かなかった。

ネヘミ2:13 わたしは夜中に出て谷の門を通り、龍の井戸および糞の門に行って、エルサレムのくずれた城壁や、火に焼かれた門を調査し、

ネヘミ2:14 また泉の門および王の池に行ったが、わたしの乗っている獣の通るべき所もなかった。

ネヘミ2:15 わたしはまたその夜のうちに谷に沿って上り、城壁を調査したうえ、身をめぐらして、谷の門を通って帰った。

ネヘミ2:16 つかさは、わたしがどこへ行っただけ、何をしたかを知らなかった。わたしはまたユダヤ人にも、祭司たちにも、尊い人たちにも、つかさたちにも、その他工事をする人々にもまだ知らせなかった。

ネヘミ2:17 しかしわたしはついに彼らに言った、“あなたがたの見るとおり、われわれは難局にある。エルサレムは荒廃し、その門は火に焼かれた。さあ、われわれは再び世のはずかしめをうけることのないように、エルサレムの城壁を築こう”。

ネヘミ2:18 そして、わたしの神がよくわたしを助けられたことを彼らに告げ、また王がわたしに語られた言葉をも告げたので、彼らは“さあ、立ち上がって築こう”と言い、奮い立って、この良きわざに着手しようとした。

ネヘミ2:19 ところがホロニびとサンバラテ、アンモンびと奴隷トビヤおよびアラビヤびとガシムがこれを聞いて、われわれをあざけり、われわれを侮って言った、“あなたがたは何をするのか、王に反逆しようとするのか”。

ネヘミ2:20 わたしは彼らに答えて言った、“天の神がわれわれを恵まれるので、そのしもべであるわれわれは奮い立って築くのである。しかしあなたがたはエルサレムに何の分もなく、権利もなく、記念もない”。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ3: ネヘミヤ記 第3章

ネヘミ3:1 かくて大祭司エリアシブは、その兄弟である祭司たちと共に立って羊の門を建て、これを聖別してそのとびらを設け、さらにこれを聖別して、ハンメアの望楼に及ぼし、またハナネルの望楼にまで及ぼした。

ネヘミ3:2 彼の次にはエリコの人々が建て、その次にはイムリの子ザックルが建てた。

ネヘミ3:3 魚の門はハッセナアの子らが建て、その梁を置き、そのとびらと横木と貫の木とを設けた。

ネヘミ3:4 その次にハッコヅの子ウリヤの子メレモテが修理し、その次にメシザベルの子ベレキヤの子メシュラムが修理し、その次にバアナの子ザドクが勝利した。

ネヘミ3:5 その次にテコアびとらが修理したが、その貴人たちはその主の工事に服さなかった。

ネヘミ3:6 古い門はパセアの子ヨイアダおよびベンデヤの子メシュラムがこれを修理し、その梁を置き、そのとびらと横木と貫の木とを設けた。

ネヘミ3:7 その次にギベナンびとメラテヤ、メロノデびとヤドン、および川向こうの州の知事の行政下にあるギベオンとミヅバの人々が修理した。

ネヘミ3:8 その次にヘルハヤの子ウジエルなどの金細工人が修理し、その次に製香者のひとりハナニヤが修理した。こうして彼らはエルサレムを城壁の広い所まで復旧した。

ネヘミ3:9 その次にエルサレムの半区域の知事ホルの子レバヤが修理し、

ネヘミ3:10 その次にハルマフの子エダヤが自分の家と向かい合っている所を修理し、その次にはハシャブニヤの子ハットシが修理した。

ネヘミ3:11 ハリムの子マルキヤおよびバハテ・モアブの子ハシュブも他の部分および炉の望楼を修理した。

ネヘミ3:12 その次にエルサレムの他の半区域の知事ハロヘシの子シャルムがその娘たちと共に修理した。

ネヘミ3:13 谷の門はハヌンがザノアの民と共にこれを修理し、これを建て直して、そのとびらと横木と貫の木とを設け、また糞の門まで城壁1000キュビトを修理した。

ネヘミ3:14 糞の門はベテ・ハケレムの区域の知事レカブの子マルキヤがこれを修理し、これを建て直して、そのとびらと横木と貫の木とを設けた。

ネヘミ3:15 泉の門はミヅバの区域の知事コロホゼの子シャルンがこれを修理し、これを建て直して、おおいを施し、そのとびらと横木と貫の木とを設けた。彼はまた王のそののほとりのシラの池に沿った石がきを修理して、ダビデの町から下る階段にまで及んだ。

ネヘミ3:16 その後にベテズルの半区域の知事アズブクの子ネヘミヤが修理して、ダビデの量と向かい合った所に及び、堀池と勇士の宅にまで及んだ。

ネヘミ3:17 その後にバニの子レホムなどのレビびとが修理し、その次にケイラの半区域の知事ハシャビヤがその区域のために修理した。

ネヘミ3:18 その後にケイラの半区域の知事ヘナダデの子バワイなどその兄弟たちが修理し、

ネヘミ3:19 その次にエシュアの子でミヅパの知事であるエゼルが、城壁の間借りかどにある武器倉に上る所と向かい合った他の部分を修理し、

ネヘミ3:20 その後にザバイの子バルクが、力をつくして城壁の間借りかどから大祭司エリアシブの家の門までの他の部分を修理し、

ネヘミ3:21 その後にハッコヅの子ウリヤの子メレモテが、エリアシブの家の門からエリアシブの家の端まで他の部分を修理し、

ネヘミ3:22 彼の後に低地の人々である祭司たちが修理し、

ネヘミ3:23 その後にベニヤミンおよびハシュブが、自分たちの家と向かい合っている所を修理し、その後にアナニヤの子マアセヤの子アザリヤが、自分の家の附近を修理し、

ネヘミ3:24 その後にヘナダデの子ビンヌイが、アザリヤの家から城壁の曲りかど、およびすみまでの他の部分を修理した。

ネヘミ3:25 ウザイの子パラルは、城壁の曲りかどと向かい合っている所、および監視の庭に近い王の上の家から突き出ている望楼と向かい合っている所を修理した。その後にパロシの子ペダヤ、

ネヘミ3:26 およびオペルに住んでいる宮に仕えるしもべたちが、東の方の水の門と向かい合っている所、および突き出ている望楼と向かい合っている所まで修理した。

ネヘミ3:27 その後にテコアびとが、突き出ている大望楼と向かい合っている他の部分を修理し、オペルの城壁にまで及んだ。

ネヘミ3:28 馬の門から上の方は祭司たちが、おのおの自分の家と向かい合っている所を修理した。

ネヘミ3:29 その後にインメルの子ザドクが、自分の家と向かい合っている所を修理し、その後にシカニヤの子シマヤという東の門を守る者が修理し、

ネヘミ3:30 その後にシレミヤの子ハナニヤおよびザラフの第6の子ハヌンが他の部分を修理し、その後にベレキヤの子メシュラムが、自分のへやと向かい合っている所を修理した。

ネヘミ3:31 その後に金細工のひとりマルキヤという者が、召集の門と向かい合っている所を修理して、すみの2階のへやに至り、宮に仕えるしもべたちおよび商人の家にまで及んだ。

ネヘミ3:32 またすみの2階のへやと羊の門の間は金細工と商人たちがこれを修理した。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ4: ネヘミヤ記 第4章

ネヘミ4:1 サンバラはわれわれが城壁を築くのを聞いて怒り、大いに憤ってユダヤ品をあざけた。

ネヘミ4:2 彼はその兄弟たちおよびサマリヤの兵隊の前で語って言った、“この弱々しいユダヤ人は何をしているのか。自分で再興しようとするのか。犠牲をささげようとするのか。1日で事を終えようとするのか。塵塚の中の石はすでに焼けているのに、これを取りだして生かそうとするのか”

4,2-1,そうとするのか”。

ネヘミ4:3 またアンモンびとトビヤは、彼のかたわらにいて言った、“そうだ、彼らの築いている城壁は、きつね1匹が上ってくずれるであろう”と。

ネヘミ4:4 “われわれの神代、聞いてください。われわれは侮られています。彼らのはずかしめを彼らのこうべに返し、彼らを捕囚の地でぶんこり者にしてください。

ネヘミ4:5 彼らのとがをおおわず、彼らの罪をみ前から消し去らないでください。彼らは築き建てる者の前であなたを怒らせたからです”。

ネヘミ4:6 こうしてわれわれは城壁を築いたが、石がきはみな相連なって、その高さの半ばにまで達した。民が心をこめて働いたからである。

ネヘミ4:7 ところがサンバラテ、トビヤ、アラビヤびと、アンモンびと、アシドドびとらは、エルサレムの城壁の修理が進展し、その破れ目もふさがり始めた聞いて大いに怒り、

ネヘミ4:8 皆共に相ばかり、エルサレムを攻めて、その中に混乱を起そうとした。

ネヘミ4:9 そこでわれわれは神に祈り、また日夜見張りを置いて彼らに備えた。

ネヘミ4:10 その時、ユダビとは言った、“荷を負う者の力は衰え、そのうえ、灰土がおびただしいので、われわれは城壁を築くことができない”。

ネヘミ4:11 またわれわれの敵は言った、“彼らの知らないうちに、また見ないうちに、彼らの中にはいりこんで彼らを殺し、その工事をやめさせよう”。

ネヘミ4:12 また彼らの近くに住んでいるユダヤ人たちはきて、10度もわれわれに言った、“彼らはその住んでいるすべての所からわれわれに攻め上るでしょう”と。

ネヘミ4:13 そこでわたしは民につるぎ、やりおよび弓を持たせ、城壁の後の低い所、すなわち空地にその家族にしたがって立たせた。

ネヘミ4:14 わたしは見めぐり、立って尊い人々、つかさたち、およびその他の民らに言った、“あなたがたは彼らを恐れてはならない。大いなる恐るべき主を覚え、あなたがたの兄弟、むすこ、娘、妻および家のために戦いなさい”。

ネヘミ4:15 われわれの敵は自分たちの事が、われわれに悟られたことを聞き、また神が彼らの計りごとを破られたことを破られたことを聞いたので、われわれはみな城壁に帰り、おのおのその工事を続けた。

ネヘミ4:16 その日から後は、わたしのしもべの半数は工事に働き、半数はやり、盾、弓、よろいをもって武装した。そしてつかさたちは城壁を築いているユダの全家の後ろを立った。

ネヘミ4:17 荷を負い運ぶ者はおのおの片手で工事をなし、片手に武器を執った。

ネヘミ4:18 築き建てる者はおのおのその腰につるぎを帯びて築き建て、ラッパを吹く者はわたしのかたわらにいた。

ネヘミ4:19 わたしは尊い人々、つかさたち、およびその他の民に言った、“工事は大きくかつ広がっているので、われわれは城壁の上で互いに遠く離れている”。

ネヘミ4:20 どこでもラッパの音を聞いたなら、そこにいるわれわれの所に集まってほしい。われわれの神はわれわれのために戦われます”。

ネヘミ4:21 このようにして、われわれは工事を進めたが、半数の者は夜明けから星の出る時まで、やりを執っていた。

ネヘミ4:22 その時わたしはまた民に告げて、“おのおのそのしもべと共にエルサレムの打ちに宿り、夜はわれわれの護衛者となり、昼は工事をするように”とやった。

ネヘミ4:23 そして、わたしも、わたしの兄弟たちも、わたしのしもべたちもわたしを護衛する人々も、われわれのうちひとりも、その衣を脱がず、おのおの手に武器を執っていた。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ5: ネヘミヤ記 第5章

ネヘミ5:1 さて、ここに民がその妻と共に、その兄弟であるユダヤ人に向かって大いに叫び訴えることがあった。

ネヘミ5:2 すなわち、ある人々は言った、“われわれはむすこ娘と共に大ぜいです。われわれは穀物を得て、食べて生きていかなければなりません”。

ネヘミ5:3 またある人々は言った、“われわれは飢えのために、穀物を得ようと田畑も、ぶどう畑も、家も抵当に入れています”。

ネヘミ5:4 ある人々は言った、“われわれは王の税金のために、われわれの田畑およびぶどう畑をもって兼ねを借りました”。

ネヘミ5:5 現にわれわれの肉はわれわれの兄弟の肉に等しく、われわれの子供も彼らの子供に等しいのに、見よ、われわれはむすこ娘を人の奴隷とするようにしられています。われわれの娘のうちには、すでに人の奴隷になった者もありますが、われわれの田畑も、ぶどう畑も他人のものにな

5,5-1,他人のものになっているので、われわれにはどうする力もありません”。

ネヘミ5:6 わたしは彼らの叫びと、これらの言葉を聞いて大いに怒った。

ネヘミ5:7 わたしはすずから考えたすえ、尊い人々およびつかさたちを責めて言った、“あなたがたはめいめいその兄弟から利息をとっている”。そしてわたしは彼らの事について大会を開き、

ネヘミ5:8 彼らに言った、“われわれは異邦人に売られたわれわれの兄弟ユダヤ人を、われわれの力にしたがってあがなった。しかるにあなたがたは自分の兄弟を売ろうとするのか。彼らはわれわれに売られるのか”。彼らは黙してひと事もいわなかった。

ネヘミ5:9 わたしはまた言った、“あなたがたのする事はよくない。あなたがたは、われわれの敵である異邦人のそし

りをやめさせるために、われわれの神を恐れつつ事をなすべきではないか。

ネヘミ5:10 わたしもわたしの兄弟たちも、わたしのしもべたちも同じく金と穀物とを貸しているが、われわれはこの利息をやめよう。

ネヘミ5:11 どうぞ、あなたがたは、きょうにも彼らの田畑、ぶどう畑、オリーブ畑および家屋を彼らに返し、またあなたがたが彼らから取っていた金銀、穀物、ぶどう酒、油などの100分の1を返しなさい”。

ネヘミ5:12 すると彼れは”われわれはそれを返します。彼らから何をも要求しません。あなたの言うようにします”と言った。そこでわたしは祭司たちを呼び、彼らにこの言葉のとおりに行うという誓いを立てさせた。

ネヘミ5:13 わたしはまたわたしのふところを打ち払って言った、”この約束を実行しない者を、どうぞ神がこのように打ち払って、そいおよびその仕事を離れさせられるように。その人はこのように打ち払われてむなしくなるように”。

会衆はみな”アメン”と言って、主をさんびした。◆

5,13-1,さんびした。そして民はこの約束のとおりに行った。

ネヘミ5:14 またわたしは、ユダの地の総督に任ぜられた時から、すなわちアルタシャスタ王の第20年から第32年まで、12年の間、わたしもわたしの兄弟たちも、総督としての手当を受けなかった。

ネヘミ5:15 わたしより以前の総督らは民に重荷を負わせ、彼らから銀40シケルのほかにパンとぶどう酒を取り、また彼らのしもべたちも民を圧迫した。しかしわたしは神を恐れるので、そのようなことはしなかった。

ネヘミ5:16 わたしはかえって、この城壁の工事に身をゆだね、どんな土地をも買ったことはない。わたしのしもべたちは皆そこに集まって工事をした。

ネヘミ5:17 またわたしの食卓にはユダヤ任と、つかさたち150人もあり、そのほかに、われわれの周囲の異邦人のうちからきた人々もあった。

ネヘミ5:18 これがために1日に牛1頭、肥えた羊6頭を備え、また鶏をもわたしのために備え、10日ごとにたくさんぶどう酒を備えたが、わたしはこの民の労役が重かったので、総督としての手当を求めなかった。

ネヘミ5:19 わが神よ、わたしがこの民のためにしたすべての事を覚えて、わたしをお恵みください。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ6: ネヘミヤ記 第6章

ネヘミ6:1 サンバラテ、トビヤ、アラビヤびとガシムおよびその他のわれわれの敵は、わたしが城壁を築き終って、1つの破れも残らないと聞いた。(しかしその時にはまだ門のとびらをつけていなかったのである。)

ネヘミ6:2 そこでサンバラテとガシムはわたしに使者をつかわして言った、”さあ、われわれはオノの平野にある1つの村で会見しよう”と。彼らはわたしに危害を加えようと考えていたのである。

ネヘミ6:3 それでわたしは彼らに使者をつかわして言わせた、”わたしは大いなる工事をしているから下って行くことはできない。どうしてこの工事をさしおいて、あなたがたの所へ下って行き、その間、工事をやめることができようか”。

ネヘミ6:4 彼らは4度までこのようにわたしに人をつかわしたが、わたしは同じように彼らに答えた。

ネヘミ6:5 ところが、サンバラテは5度目にそのしもべを前のようにわたしにつかわした。その手には開封の手紙を携えていた。

ネヘミ6:6 そのなかに次のようにしるしてあった。”諸国民の間に言い伝えられ、またガシムも言っているが、あなたはユダヤ人と共に反乱を企て、これがために城壁を築いている。またその言うところによれば、あなたは彼らの王になろうとしている。

ネヘミ6:7 またあなたは預言者を立てて、あなたのことをエルサレムにのべ伝えさせ、’ユダに王がある’と言わせているが、そのことはこの言葉のとおり王に聞えるでしょう。それゆえ、今おいでなさい。われわれは共に相談しましょう”。

ネヘミ6:8 そこでわたしは彼に人をつかわして言わせた、”あなたの言うようなことはしていません。あなたはそれを自分の心から造り出したのです”と。

ネヘミ6:9 彼らはみな”彼らの手が弱って工事をやめるようになれば、工事は成就しないだろう”と考えて、われわれをおどそうとしたのである。しかし神よ、どうぞいまわたしの手を強めてください。

ネヘミ6:10 さてわたしはメヘタベルの子デラヤの子シマヤの家に行ったところ、彼は閉じこもっていて言った、”われわれは神の宮すなわち神殿の中で会合し、神殿の戸を閉じておきましょう。彼らはあなたを殺そうとして来るからです。きつと夜のうちにあなたを殺そうとして来るでしょう”◆

6,10-1,来るでしょう”。

ネヘミ6:11 わたしは言った、“わたしのような者がどうして逃げられよう。わたしのような者でだれが神殿にはいつて命を全うすることができよう。わたしはいらない”。

ネヘミ6:12 わたしは悟った。神が彼をつかわされたのではない。彼がわたしにむかってこの預言を伝えたのは、トビヤとサンバラテが彼を買収したためである。

ネヘミ6:13 彼が買収されたのはこの事のためである。すなわちわたしを恐れさせ、わたしにこのようにさせて、罪を犯させ、わたしに悪名をさせて侮辱するためであった。

ネヘミ6:14 わが神よ、トビヤ、サンバラテおよび女預言者ノアデヤならびにその他の預言者など、すべてわたしを恐れさせようとする者たちをおぼえて、彼らが行ったこれらのわざに報いてください。

ネヘミ6:15 こうして城壁は52日を経て、エルルの月の205日に完成した。

ネヘミ6:16 われわれの敵が皆これを聞いた時、われわれの周囲の異邦人はみな恐れ、大いに面目を失った。彼らはこの工事が、われわれの神の助けによって成就したことを悟ったからである。

ネヘミ6:17 またそのころ、ユダの尊い人々は多くの手紙をトビヤに送った。トビヤの手紙もまた彼らにきた。

ネヘミ6:18 トビヤはアラの子シカニヤの婿であったので、ユダのうちの多くの者が彼と誓いを立てていたからである。トビヤの子ヨハナンもベレキヤの子メシュラムの娘を妻にまとった。

ネヘミ6:19 彼らはまたトビヤの善行をわたしの前に語り、またわたしの言葉を彼に伝えた。トビヤはたびたび手紙を送って、わたしを恐れさせようとした。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ7: ネヘミヤ記 第7章

ネヘミ7:1 城壁が築かれて、とびらを設け、さらに門衛、歌うたう者およびレビびとを任命したので、

ネヘミ7:2 わたしは、わたしの兄弟ハナニと、城のつかさハナニヤに命じて、エルサレムを治めさせた。彼は多くの者にまさせて忠信な、神を恐れる者であったからである。

ネヘミ7:3 わたしは彼らに言った、“日の厚くなるまではエルサレムのもろもろの門を開いてはならない。人々が立って守っている間に門を閉じさせ、貫の木を着せ。またエルサレムの住民の中から番兵を立てて、おのおのにその所を守らせ、またおのおのの家と向かい合う所を守らせよ”。

ネヘミ7:4 町は広くて大きかったが、その内の民は少なく、家々はまだ建てられていなかった。

ネヘミ7:5 時に神はわたしの心に、尊い人々、つかさおよび民を集めて、家来によってその名簿をしらべよつとの思いを起された。わたしは最初に上って来た人々の系図を発見し、その中にこのようにしるしてあるのを見いだした。

ネヘミ7:6 バビロンの王ネブカデネザルが捕え移した捕囚のうち、ゆるされてエルサレムおよびユダに上り、おのおの自分の町に帰ったこの州の人々は次のとおりである。

ネヘミ7:7 彼らはゼルバベル、エシュア、ネヘミヤ、アザリヤ、ラアミヤ、ナハマニ、モルデカイ、ビルシヤン、ミスペレテ、ビグワイ、ネホム、バアナと一緒に帰ってきた者たちである。そのイスラエルの民の人数は次のとおりである。

ネヘミ7:8 パロシの子孫は2172人。

ネヘミ7:9 シパテヤの子孫は372人。

ネヘミ7:10 アラの子孫は652人。

ネヘミ7:11 パハテ・モアブの子孫すなわちエシュアとヨアブの子孫は2818人。

ネヘミ7:12 エラムの子孫は1254人。

ネヘミ7:13 ザットの子孫は845人。

ネヘミ7:14 ザツカイの子孫は760人。

ネヘミ7:15 ビンヌイの子孫は6403人。

ネヘミ7:16 ベバイの子孫は628人。

ネヘミ7:17 アズガデの子孫は2322人。

ネヘミ7:18 アドニカムの子孫は667人。

ネヘミ7:19 ビグワイの子孫は2067人。

ネヘミ7:20 アデンの子孫は655人。

ネヘミ7:21 ヒゼキヤの家のアテルの子孫は98人。

ネヘミ7:22 ハシュムの子孫は328人。

ネヘミ7:23 ベザイの子孫は324人。

ネヘミ7:24 ハリフの子孫は112人。
ネヘミ7:25 ギベオンの子孫は95人。
ネヘミ7:26 ベツレヘムおよびネトパの人々は188人。
ネヘミ7:27 アナトテの人々は128人。
ネヘミ7:28 ベテ・アズマウテの人々は42人。
ネヘミ7:29 キリアテ・ヤリム、ケビラおよびベエロテの人々は743人。
ネヘミ7:30 ラマおよびゲバの人々は621人。
ネヘミ7:31 ミクマシの人々は122人。
ネヘミ7:32 ペテルおよびアイの人々は123人。
ネヘミ7:33 ほかのネボの人々は52人。
ネヘミ7:34 ほかのエラムの子孫は1254人。
ネヘミ7:35 ハリムの子孫は320人。
ネヘミ7:36 エリコの人々は345人。
ネヘミ7:37 ロド、ハデテおよびオノの人々は721人。
ネヘミ7:38 セナアの子孫は3930人。
ネヘミ7:39 祭司では、エシュアの家のエダヤの子孫が973人。
ネヘミ7:40 インメルの子孫が1052人。
ネヘミ7:41 パシュルの子孫が1247人。
ネヘミ7:42 ハリムの子孫が1017人。
ネヘミ7:43 レビびとでは、エシュアの子孫すなわちホデワの子孫のうちのカデミエルの子孫が74人。
ネヘミ7:44 歌うたう者では、アサフの子孫が148人。
ネヘミ7:45 門衛では、シャルムの子孫、アテルの子孫、タルモンの子孫、アックブの子孫、ハテタの子孫およびショパイの子孫合わせて138人。
ネヘミ7:46 宮に仕えるしもべでは、ジハの子孫、ハスパの子孫、タバオテの子孫、
ネヘミ7:47 ケロスの子孫、シアの子孫、パドンの子孫、
ネヘミ7:48 レバナの子孫、ハガバの子孫、サルマイの子孫、
ネヘミ7:49 ハナンの子孫、ギデルの子孫、ガハルの子孫、
ネヘミ7:50 レアヤの子孫、レゼンの子孫、ネコダの子孫、
ネヘミ7:51 ガザムの子孫、ウザの子孫、パセアの子孫、
ネヘミ7:52 ベサイの子孫、メウニムの子孫、ネフセシムの子孫、
ネヘミ7:53 バクブクの子孫、ハクバの子孫、ハルホルの子孫、
ネヘミ7:54 バヅリテの子孫、メヒダの子孫、ハルシャの子孫、
ネヘミ7:55 バルコスの子孫、シセラの子孫、テマの子孫、
ネヘミ7:56 ネヂアの子孫およびハテパの子孫。
ネヘミ7:57 ソロモンのもべであった者たちの子孫では、ソタイの子孫、ソペレテの子孫、ペリダの子孫、
ネヘミ7:58 ヤアラの子孫、ダルコンの子孫、ギデルの子孫、
ネヘミ7:59 シパテヤの子孫、ハッテルの子孫、ボケレテ・ハッゼバイムの子孫、アモンの子孫。
ネヘミ7:60 宮に仕えるしもべたちとソロモンのもべであった者たちの子孫とは合わせて392人。
ネヘミ7:61 テルメラ、テルハレサ、ケルブ、アドンおよびインメルから上って来た者があつたが、その氏族と、血統とを示して、イスラエルの者であることを明らかにすることができなかった。その人々は次のとおりである。
ネヘミ7:62 すなわちデラヤの子孫、トビヤの子孫、ネコダの子孫であつて、あわせて642人。
ネヘミ7:63 また祭司のうちにホバヤの子孫、ハツコヅの子孫、バルジライの子孫がある。バルジライはギレアデびとバルジライの娘たちのうちから妻をめとつたので、その名で呼ばれた。
ネヘミ7:64 これらの者はこの系図に載った者のうちに、自分の籍をたずねたが、なかつたので、汚れた者として祭司の職から除かれた。
ネヘミ7:65 総督は彼らに告げて、ウリムとトンミムの帯びる祭司の起るまでは、いと聖なる者を食べてはならぬと言つた。
ネヘミ7:66 会衆は合わせて42360人であつた。
ネヘミ7:67 このほかに男女の奴隷が7337人、歌うたう者が男女合わせて245人あつた。
ネヘミ7:68 その馬は736頭、その騾馬は245頭、
ネヘミ7:69 そのらくだは435頭、そのろばは6720頭であつた。

ネヘミ7:70 氏族の長のうち工事のためにささげ者をした人々があった。総督は金1000ダリク、鉢50、祭司の衣服530かさねを倉に納めた。

ネヘミ7:71 また氏族の長のうちのある人々は金2万ダリク、銀2200ミナを工事のために倉に納めた。

ネヘミ7:72 その他の民の納めたものは金2万ダリク、銀2千ミナ、祭司の衣服67かさねであった。

ネヘミ7:73 こうして祭司、レビびと、門衛、歌うたう者、民のうちのある人々、宮に仕えるしもべたち、およびイスラエルびとは皆その町々に住んで7月になった。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ8: ネヘミヤ記 第8章

ネヘミ8:1 その時民は皆ひとりのようになって水の門の前の広場に集まり、主がイスラエルに与えられたモーセの律法の書を持って来るように、学者エズラに求めた。

ネヘミ8:2 祭司エズラは7月の1日に律法を携えて来て、男女の会衆およびすべて聞いて悟ることのできる人々の前にあらわれ、

ネヘミ8:3 水の門の前にある広場で、あけぼのから正午まで、男女および悟ることのできる人々の前でこれを読んだ民はみな律法の書に耳を傾けた。

ネヘミ8:4 学者エズラはこの事のために、かねて設けた木の台の上に立ったが、彼のかたわらには右の方にマッタテヤ、シマ、アナヤ、ウリヤ、ヒルキヤおよびマアセヤが立ち、右の方にはベダヤ、ミサエル、マルキヤ、ハシュム、ハシバダナ、ゼカリヤおよびメシュラムが立った。

ネヘミ8:5 エズラはすべての民の前にその書を開いた。彼はすべての民よりも他界所にいたからである。彼が書を開くと、すべての民は起立した。

ネヘミ8:6 エズラは大いなる神、主をほめ、民は皆その手をあげて、“アメン、アメン”と言って答え、こうべをたれ、地にひれ伏して主を拝した。

ネヘミ8:7 エシュア、パニ、セレビヤ、ヤミン、アッタブ、シャベタイ、ホデヤ、マアセヤ、ケリタ、アザリヤ、ヨザバデ、ハナン、ペラヤおよびレビびとたちは民に律法を悟らせた。民はその所に立っていた。

ネヘミ8:8 彼らはその書、すなわち神の律法をぬいりように読み、その意味を解き明かしてその読むところを悟らせた。

ネヘミ8:9 総督であるネヘミヤと、祭司であり、学者であるエズラと、民を教えるレビびとたちはすべての民に向かって“この日はあなたがたの神、主の聖なる日です。嘆いたり、泣いたりしてはならない”と言った。すべての民が律法の言葉を聞いて泣いたからである。

ネヘミ8:10 して彼らに言った、“あなたがたは去って、肥えたものを食べ、甘いものを飲みなさい。その供えのないものには分けてやりなさい。この日はわれわれの主の聖なる日です。憂えてはならない。主を喜ぶことはあなたがたの力です”。

ネヘミ8:11 レビびともまたすべての民を静めて、“泣くことをやめなさい。この日は聖なる日です。憂えてはならない”と言った。

ネヘミ8:12 すべての民は去って食い飲みし、また分け与えて、大いに喜んだ。これは彼らが読み気化された言葉を悟ったからである。

ネヘミ8:13 次の日、すべての民の氏族の長たち、祭司、レビびとらは律法の言葉を学ために学者エズラのもとに集まってきて、

ネヘミ8:14 律法のうちに主がモーセに命じられたこと、すなわちイスラエル人々は7月の祭の間、仮庵の中に住むべきことがしるされているのを見いだした。

ネヘミ8:15 またすべての町々およびエルサレムにのべ伝えて、“あなたがたは山に出て言って、オリブと野性のオリブ、ミルトス、ナツメヤシ、および茂った木の枝を取ってきて、しるされてあるとおり、仮庵を造れ”と言ってあるのを見いだした。

ネヘミ8:16 それで民は出て行って、それを持って帰り、おのおのその家の屋根の上、その庭、神の宮の庭、水の門の広場、エフライムの門の広場などに仮庵を造った。

ネヘミ8:17 捕囚から帰って来た会衆は皆仮庵を造って、仮庵に住んだ。ヌンの子ヨシュアの日からこの日まで、イスラエルの人々はこのように行ったことがなかった。それでその喜びは非常に大きかった。

ネヘミ8:18 エズラは初めの日から終りの日まで、毎日神の律法の書を読んだ。人々は7日の間、祭を行い、8日目になって、おきてにしたがって聖会を開いた。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ9: ネヘミヤ記 第9章

ネヘミ9:1 その月の24日にイスラエルの人々は集まって断食し、荒布をまとい、土をかぶった。

ネヘミ9:2 そしてイスラエルの子孫は、すべての異邦人を離れ、立って自分の罪と先祖の不義とをざんげした。

ネヘミ9:3 彼らはその所に立って、その日の4分の1をもってその神、主の律法の書を読み、他の4分の1をもってざんげをなし、その神、主を拝した。

ネヘミ9:4 その時エシュア、バニ、カデミエル、シバニヤ、ブンニ、セレビヤ、バニ、ケナニらはレビびとの台の上に立ち、大声をあげて、その神、主に呼ばわった。

ネヘミ9:5 それからまたエシュア、カデミエル、バニ、ハシャブニヤ、セレビヤ、ホデヤ、セバニヤ、ペタヒヤなどのレビびとは言った、“立ちあがって永遠から永遠にいますあなたがたの神、主をほめさない。あなたの尊いみ名はほむべきかな。これはすべての祝福とさんびを越えるものです◆

9,5-1,越えるものです”。

ネヘミ9:6 またエズラは言った、“あなたは、ただあなたのみ、主でいらせられます。あなたは天と諸天の天と、その万象、地とその上のすべてのもの、海とその中のすべてのものを造り、これをことごとく保たれます。天の万軍はあなたを拝します。

ネヘミ9:7 あなたは主、神でいらせられます。あなたは昔アブラハムを選んでカルデヤのウルから導き出し、彼にアブラハムという名を与え、

ネヘミ9:8 彼の心があなたの前に忠信なのを見られて、彼と契約を結び、その子孫にカナンびと、ヘテびと、アモリびと、ペリジびと、エブスびとおよびギルガシびとの地を与えろと言われたが、ついにあなたはその約束を成就されました。あなたは正しくいらせられるからです。

ネヘミ9:9 あなたはわれわれの先祖がエジプトで苦難を受けるのを顧みられ、また航海のほとりで呼ばわり叫ぶのを聞きいられ、

ネヘミ9:10 しるしと不思議とをあらわしてパロと、そのすべての家来と、sno国のすべての民を攻められました。かれらがわれわれの先祖に対して、ごうまんにふるまったことを知られたからです。そしてあなたが名をあげられたこと今日のようです。

ネヘミ9:11 あなたはまた彼らの前で海を分け、彼らに、かわいた地を踏んで海の中を通らせ、彼らを追う者を、石を大水に投げ入れるように淵に投げ入れ、

ネヘミ9:12 昼は雲の柱をもって彼らを導き、夜は火の柱をもってその行くべき道を照されました。

ネヘミ9:13 あなたはまたシナイ山の上に下り、天から彼らと語り、正しいおきてと、まことの律法および予期さだめと戒めとを授け、

ネヘミ9:14 あなたの聖なる安息日を彼らに示し、あなたのしもべモーセによって戒めと、さだめと、律法とを彼らに命じ、

ネヘミ9:15 天から食物を与えてその飢えをとどめ、岩から水を出してそのかわきを潤し、また、彼らに与えると誓われたその国にはいつて、これを獲るように彼らに命じられました。

ネヘミ9:16 しかし彼ら、すなわちわれわれの先祖はごうまんにふるまい、かたくなで、あなたの戒めに従わず、

ネヘミ9:17 従うことを拒み、あなたが彼らの中出行われた奇跡を心にとめず、かえってかたくなになり、みずからひとりのかしらを立てて、エジプトの奴隷の生活に帰ろうとしました。しかしあなたは罪をゆるす神、恵みあり、あわれみあり、怒ることおそく、いつくしみ豊かにましまして、彼◆

9,17-1,まして、彼らを捨てられませんでした。

ネヘミ9:18 また彼らがみずから1つの鑄物の子牛を造って、‘これはあなたがたをエジプトから導き上ったあなたがたの神である’と言って、大いに汚し事を行った時にも、

ネヘミ9:19 あなたは大いなるあわれみをもって彼らを荒野に見捨てられず、昼は雲の柱を彼らの上から離せないで道々彼らを導き、夜は火の柱をもって彼らの行くべき道を照らされました。

ネヘミ9:20 またあなたは良きみたまを賜わて彼らを教え、あなたのマナを常に彼らの口に与え、また水を彼らに与えて、かわきをとおどめ、

ネヘミ9:21 40年の間彼らを荒野で養われたので、彼らはなんの欠けるところもなく、その衣服も古びず、その足もはれませませんでした。

ネヘミ9:22 そしてあなたは彼らに諸国、諸民を与えて、これをすべて分かち寄せられました。彼らはヘシボンの

追うシホンの領地、およびバシヤンの王オグの領地を獲ました。

ネヘミ9:23 また彼らの子孫を増して空の星のようにし、彼らの先祖たちに、はいって獲よと言われた地に彼らを導き入れられたので、

ネヘミ9:24 その子孫は、はいってこの地を獲ました。あなたはまた、この地に住むカナンびとを彼らの前に征服し、その王たちおよびその地の民を彼らの手に渡して、意のままに扱わせられました。

ネヘミ9:25 それで彼らは堅固な町々および肥えた地を取り、もろもろの良い者の満ちた家、堀池、ぶどう畑、オリブ畑および多くの果樹を獲、食べて飽き、肥え太り、あなたの大いなる恵みによって楽しみました。

ネヘミ9:26 それにもかかわらず彼らは不従順で、あなたにそむき、あなたの律法を後ろに投げ捨て、彼らを戒めて、あなたに立ち返らせようとして預言者たちを殺し、大いに汚し事を行いました。

ネヘミ9:27 そこであなたは彼らを敵の手に渡して苦しめられましたが、彼らがその苦難の時にあなたに呼ばわったので、あなたは天からこれを聞かれ、大いなるあわれみをもって彼らに救う者を与え、敵の手から救わせられました。

ネヘミ9:28 ところが彼らは安息を得るやいなや、またあなたの前に悪事を行ったので、あなたは彼らを敵の手に捨て置いて、これに治めさせられましたが、彼らがまた立ち返ってあなたに呼ばわったので、あなたは天からこれを聞き、あわれみをもってしばしば彼らを救い出し、

ネヘミ9:29 彼らを戒めて、あなたの律法に引きもどそうとされました。けれども彼らはごうまんにふるまい、あなたの戒めに従わず、人がこれを行うならば、これによって生きるといふあなたのおきてを破って罪を犯し、肩をそびやかし、かたくなになって、聞き従おうとはしませんでした。

ネヘミ9:30 それでもあなたは年久しく彼らを忍び、あなたの預言者たちにより、あなたのみたまをもって彼らを戒められましたが、彼らは耳を傾けなかったので、彼らを国々の民の手に渡されました。

ネヘミ9:31 しかしあなたは大いなるあわれみによって彼らを絶やさず、また彼らを捨てられませんでした。あなたは恵みあり、あわれみある神でいらされるからです。

ネヘミ9:32 それゆえ、われわれの神、契約を保ち、いつくしみを施される大いにして力強く、恐るべき神よ、アッシリヤの王たちの時から今日まで、われわれとわれわれの王たち、つかさたち、祭司たち、預言者たち、先祖たち、およびあなたおすべての民に臨んだもろもろの苦難を小さい事と◆

9,32-1,小さい事と見ないでください。

ネヘミ9:33 われわれに臨んだすべての殊について、あなたは正しいのです。あなたは誠実をもって行われたのに、われわれは悪を行ったのです。

ネヘミ9:34 われわれの王たち、つかさたち、祭司たち、先祖たちはあなたの律法を行わず、あなたがお与えになった命令と戒めとに聞き従いませんでした。

ネヘミ9:35 すなわち彼らはおのれの国におり、あなたが下さった大きな恵みのうちにおり、またあなたがお与えになった広い肥えた地におりながら、あなたに仕えず、また自分の悪いわざをやめることをしませんでした。

ネヘミ9:36 われわれは今日奴隷です。あなたがわれわれの先祖に与えて、その実とその良き物とを食べさせようとした地で、われわれは奴隷となっているのです。

ネヘミ9:37 そしてこの地はわれわれの罪のゆえに、あなたがわれわれの上に立てられた王たちのために多くの産物を出しています。かつ彼らはわれわれの身をも、われわれの家畜をも意のままに左右することができるので、われわれは大いなる苦難のうちにあるのです”。

ネヘミ9:38 このもろもろの事のためにわれわれは堅い契約を結んで、これを記録し、われわれのつかさたち、レビびとたち祭司たちはこれに印を押した。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ10: ネヘミヤ記 第10章

ネヘミ10:1 印を押した者はハカリヤの子である総督ネヘミヤ、およびゼデキヤ、

ネヘミ10:2 セラヤ、アザリヤ、エレミヤ、

ネヘミ10:3 パシユル、アマリヤ、マルキヤ、

ネヘミ10:4 ハットシ、シバニヤ、マルク、

ネヘミ10:5 ハリム、メレモテ、オバデヤ、

ネヘミ10:6 ダニエル、ギンネトン、バルク、

ネヘミ10:7 メシュラム、アビヤ、ミヤミン、

ネヘミ10:8 マアジヤ、ビルガイ、シマヤ、で、これらは祭司である。

ネヘミ10:9 レビびとはアザニヤの子エシュア、ヘナダデの子らのうちのビンネイ、カデミエル、

ネヘミ10:10 およびその兄弟シバニヤ、ホデヤ、ケリタ、ペラヤ、ハナン、

ネヘミ10:11 ミカ、レホブ、ハシャビヤ、

ネヘミ10:12 ザックル、セレビヤ、シバニヤ

ネヘミ10:13 ホデヤ、パニ、ベニヌである。

ネヘミ10:14 民のかしらではパロシ、パハテ・モアブ、エラム、ザット、パニ、

ネヘミ10:15 ブンニ、アズガデ、ベバイ、

ネヘミ10:16 アドニヤ、ビッグワイ、アデン、

ネヘミ10:17 アテル、ヒゼキヤ、アズル、

ネヘミ10:18 ホデヤ、ハシュムベザイ、

ネヘミ10:19 ハリフ、アナトテ、ノバイ、

ネヘミ10:20 マグピアシ、メシュラム、ヘジル、

ネヘミ10:21 メシザベル、ザドク、ヤドア、

ネヘミ10:22 ペラテヤ、ハナン、アナニヤ、

ネヘミ10:23 ホセア、ハナニヤ、ハシュブ、

ネヘミ10:24 ハロヘシ、ビルハ、シュベク、

ネヘミ10:25 レホム、ハシャブナ、マアセヤ、

ネヘミ10:26 アヒヤ、ハナン、アナン、

ネヘミ10:27 マルク、ハリム、バアナである。

ネヘミ10:28 その地の民、祭司レビびと、門を守る者、歌うたう者、宮に仕えるしもべ、ならびにすべて国々の民と離れて神の律法に愛違った者およびその妻、むすこ、娘などすべて知識と悟りのある者は、

ネヘミ10:29 その兄弟である尊い人々につき従い、神のしもべモーセによって授けられた神の律法に歩み、われわれの主、主のすべての戒めと、おきてと、定めとを守り行うために、のろいと誓いとに加わった。

ネヘミ10:30 われわれはこの地の民らにわれわれの娘を与えず、われわれのむすこに彼らの娘をめとらない。

ネヘミ10:31 またこの地の民らがたとい品物または穀物を安息日に携えて来て売ろうとしても、われわれは安息日または聖日にはそれを買わない。また7年ごとに耕作をやめ、すべての負債をゆるす。

ネヘミ10:32 われわれはまたみずから規定を設けて、われわれの神の宮の用のために年々シケルの3分の1を出し、

ネヘミ10:33 供えのパン、常素祭、常燔祭のため、安息日、新月および定め祭の供え物のため、聖なる物のため、イスラエルのあがないをなす罪祭、およびわれわれの神の宮のもろもろのわざのために用いることにした。

ネヘミ10:34 またわれわれ祭司、レビびとおよび民はくじを引いて、律法にしるされてあるようにわれわれの神、主の祭壇の上にたくべきときぎの供え物を、年々定められた時に氏族にしたがって、われわれの神の宮に納める者を定めた。

ネヘミ10:35 またわれわれの土地の初なり、および各種の木の実の初なりを、年々種の宮に携えてくることを誓い、

ネヘミ10:36 また律法にしるしてあるように、われわれの子どもおよび家畜のういご、およびわれわれの牛や羊のういごを、われわれの神のいみやに携えてきて、われわれの神の宮に仕える祭司に渡し、

ネヘミ10:37 われわれの麦子の初物、われわれの供え物、各種の木の実、ぶどう酒および油を祭司のもとに携えて行って、われわれの神の宮のへやに納め、またわれわれの土地の産物の10分の1をレビびとに与えることにした。

レビびとはわれわれのすべての農作をなす町において、その10分◆

10,37-1,その10分の1を受くべき者だからである。

ネヘミ10:38 レビびとが10分の1を受ける時には、アロンの子孫である祭司が、そのレビびとと共にいなければならない。そしてまたレビびとはその10分の1の10分お1を、われわれの神の宮に携え上って、へやまたは倉に納めなければならない。

ネヘミ10:39 すなわちイスラエルの人々およびレビの子孫は穀物、ぶどう酒、および油の供え物を携えて行って、聖所の器物および勤めをする祭司、門衛、歌うたう者たちのいるへやにこれを納めなければならない。こうしてわれわれは、われわれの神の宮をなおざりにしない。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ11: ネヘミヤ記 第11書

ネヘミ11:1 民のつかさたちはエルサレムに住み、その地の民はくじを引いて、10人のうちからひとりずつを、聖都エルサレムに来て住ませ、9人を他の町々に住ませた。

ネヘミ11:2 またすべてすみから進みでてエルサレムにすむことを申し出た人々は、民はこれを祝福した。

ネヘミ11:3 さてエルサレムに住んだこの州の長たちは次のとおりである。ただしユダの町々ではおのおのその町々にある自分の所有地に住んだ。すなわちイスラエルびと、祭司、レビびと、宮に仕えるしもべ、およびソロモンのしもべであった者たちの子孫である。

ネヘミ11:4 そしてエルサレムにはユダの子孫およびベニヤミンの子孫のうちのある者たちが住んだ。すなわちユダの子孫ではウジヤの子アタヤで、ウジヤはゼカリヤの子、ゼカリヤはアマリヤの子、アマリヤはシバテヤの子、シバテヤはマハラルの子、マハラルはベレヅの子孫である。

ネヘミ11:5 またバルクの子マアセヤで、バルクはコロホゼの子、コロホゼはハザヤの子ハザヤはアダヤの子、アダヤはヨヤリブの子、ヨヤリブはゼカリヤの子、ゼカリヤはシロニびとの子である。

ネヘミ11:6 ベレヅの子孫でエルサレムに住んだ者は合わせて468人で、みな勇敢な人々である。

ネヘミ11:7 ベニヤミンの子孫では次のとおりである。すなわちメシュラムの子サルで、メシュラムはヨエデの子、ヨエデはパダヤの子、パダヤはコラヤの子、コラヤはマアセヤの子、マアセヤはイデエルの子、イデエルはエサヤの子である。

ネヘミ11:8 その次はガバイおよびサライなどで合わせて928人。

ネヘミ11:9 ジクリの子ヨエルが彼らの監督である。ハッセヌアの子ユダがその副官として町を治めた。

ネヘミ11:10 祭司ではヨヤリブの子エダヤ、ヤキン、

ネヘミ11:11 および神の宮のつかさセラヤ、でセラヤはヒルキヤの子、ヒルキヤはメシュラムの子、メシュラムはザドクの子、ザドクはメラヨテの子、メラヨテはアヒブの子である。

ネヘミ11:12 宮の務をするその兄弟は822人あり、また、エロハムの子アダヤがある。エロハムはペラニヤの子、ペラリヤはアムジの子、アムジはゼカリヤの子、ゼカリヤはパシホルの子、パシホルはマルキヤの子である。

ネヘミ11:13 アダヤの兄弟で、氏族の長たる者は242人あり、またアデリエルの子アマシサイがある。アザリエルはアハザイの子、アハザイはメシレモテの子、メシレモテはインメルの子である。

ネヘミ11:14 その兄弟である勇士は128人あり、その監督はハグゲドリムの子ザブデエルである。

ネヘミ11:15 レビびとではハシュブの子シマヤで、ハシュブはアズリカムの子、アズリカムはハシャビヤの子、ハシャビヤはブンニの子である。

ネヘミ11:16 またシャベタイおよびヨザバデがある。これらはレビびとのかしらであって、神の宮の外のわざをつかさどった。

ネヘミ11:17 またミカの子マッタニヤがある。ミカはザブデの子、ザブデはアサフの子である。マッタニヤは祈の時に感謝の言葉を唱え始める者である。その兄弟のうちのバクブキヤは彼に次ぐ者であった、またシャンマの子アブダがある。シャンマはガラルの子、ガラルはエドトンの子である。

ネヘミ11:18 聖都におけるレビびとは合わせて284人であった。

ネヘミ11:19 門衛では門を守るアックブ、タルモンおよびその兄弟たち合わせて172人である。

ネヘミ11:20 その他のイスラエルびと、祭司、レビびとたちは皆ユダのすべての町々にあって、おのおの自分の嗣業にとどまった。

ネヘミ11:21 ただし宮に仕えるしもべたちはオペルに住み、デハおよびギシパが宮に仕えるしもべたちを監督していた

ネヘミ11:22 エルサレムにおけるレビびとの監督はウジである。ウジはバニの子、バニはハシャビヤの子、ハシャビヤはマッタニヤの子、マッタニヤはミカの子である。ミカは歌うたう者なるアサフの子孫である。ウジは神の宮のわざを監督した。

ネヘミ11:23 彼らについては王からの命令があって、歌うたう者に日々の定まった分を与えさせた。

ネヘミ11:24 またユダの子ゼラの子孫であるメシザベルの子ベタヒヤは王の手に属して民に関するすべての事を取り扱った。

ネヘミ11:25 また村々とその田畑については、ユダの子孫の者はキリアテ・アルバとその村々、デボンとその村々、エカブジエルとその村々に住み、

ネヘミ11:26 エシュア、モラダおよびベテベレテに住み、

ネヘミ11:27 ハザル・シュアルおよびベエルシバとその村々に住み、

ネヘミ11:28 チクラダおよびメコナとその村々に住み、

ネヘミ11:29 エンリンモン、ザレア、ヤルムテに住み、

ネヘミ11:30 ザノあ、アドラムおよびそれらの村々、ラキシとその田野、アゼカとその村々に住んだ。こうして彼らはベエルシバからヒンノムの谷にまで宿営した。

ネヘミ11:31 ベニヤミンの子孫はまたゲバからミクマシ、アヤおよびベテルとその村々に住み、

ネヘミ11:32 アナトテ、ノブアナニヤ、

ネヘミ11:33 ハズル、ラマ、ギッタ임、

ネヘミ11:34 ハデデ、ゼボイム、ネバラテ、

ネヘミ11:35 ロド、オノ、工人の谷に住んだ。

ネヘミ11:36 レビびとの国のユダにあるもののうち紅や民に合したのももあった。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ12: ネヘミヤ記 第12章

ネヘミ12:1 シャルテルの子ゼルババベルおよびエシュアと一緒に上ってきた祭司とレビびとは次のとおりである。すなわちセラヤ、エレミヤ、えずら、

ネヘミ12:2 アマリヤ、マルク、ハットシ、

ネヘミ12:3 シカニヤ、レホム、メレモテ、

ネヘミ12:4 イド、ギンネットイ、アビヤ、

ネヘミ12:5 ミヤミン、マアデヤ、ビルガ、

ネヘミ12:6 シマヤ、ヨヤリブ、エダヤ、

ネヘミ12:7 サライ、アモク、ヒルキヤ、エダヤで、これらの者はエシュアの時代に祭司およびその兄弟らのかしらであった。

ネヘミ12:8 レビびとではエシュア、ビンネイ、カデミエル、セレビヤ、ユダ、マッタニヤで、マッタニヤはその兄弟らと共に感謝のことをつかさどった。

ネヘミ12:9 また彼らの兄弟であるバクブキヤおよびウンノは彼らの向かいに立って勤めをした。

ネヘミ12:10 エシュアの子はヨアキム、ヨアキムの子はエリアシブ、エリアシブの子はヨイアダ、

ネヘミ12:11 ヨイアダの子はヨナタン、ヨナタンの子はやドアである。

ネヘミ12:12 ヨアキムの時代に祭司で氏族の長であった者はセラヤの氏族ではメラヤ、エレミヤの氏族ではハナニヤ、

ネヘミ12:13 エズラの氏族ではメシュラム、アマリヤの氏族ではヨハナン、

ネヘミ12:14 マルキの氏族ではヨナタン、シバニヤの氏族ではヨセフ、

ネヘミ12:15 ハリムの氏族ではアデナ、メラヨテの氏族ではアデナ、メラヨテの氏族ではヘルカイ、

ネヘミ12:16 イドの氏族ではゼカリヤ、ギンネットンの氏族ではメシュラム、

ネヘミ12:17 アビヤの氏族ではジクリ、ミニヤミンの氏族、モアデヤの氏族ではビルタイ、

ネヘミ12:18 ビルガの氏族ではシャンマ、シマヤの氏族ではヨナタン、

ネヘミ12:19 ヨヤリブの氏族ではマッテナイ、エダヤの氏族ではウジ、

ネヘミ12:20 サライの氏族ではカライ、アモクの氏族ではエベル、

ネヘミ12:21 セルキヤの氏族ではハシャビヤ、エダヤの氏族ではネタンエルである。

ネヘミ12:22 レビびとについては、エリアンブ、ヨイアダ、ヨハナンおよびヤドアの時代に、その氏族の長たちが登録された。また祭司たちもペルシャ王ダリヨスの治世まで登録された。

ネヘミ12:23 レビの子孫で氏族の長たる者は、エリアシブの子ヨハナンの世まで歴代志の書にしるされている。

ネヘミ12:24 レビびとのかしらはハシャビヤ、セレビヤおよびカデミエルの子エシュアであって、その兄弟たち相向かい合い、組と組と対応して神の人ダビデの命令に従い、さんびと感謝をささげた。

ネヘミ12:25 マツタニヤ、バクブキヤ、オバデヤ、メシュラム、タルモンおよびアックブは門を守る者で門の内の倉を監督した。

ネヘミ12:26 これらはヨザダクの子エシュアの子ヨアキムの時代、また総督ネヘミヤおよび学者である祭司エズラの時代にいた人々である。

ネヘミ12:27 さてエルサレムの城壁の落成式に当って、レビびとを、そのすべての所から招いてエルサレムにこさせ、感謝と、歌と、シンバルと立琴と、琴とをもって喜んで落成式を行おうとした。

ネヘミ12:28 そこで、歌うたう人々はエルサレムの周囲の地方、ネトびとの村々から集まってきた。

ネヘミ12:29 またベテギルガルおよびゲバとアズマウテの地方からも集まってきた。この歌うたう者たちはエルサレムの周囲に自分の村々を建てていたからである。

ネヘミ12:30 そして祭司とレビびとたちは身を清め、また民およびもろもろの門と城壁とを清めた。

ネヘミ12:31 そこでわたしはユダのつかさたちを城壁の上ののぼらせ、また感謝する者の2つの大きな組を作って、行進させた。その1つは城壁の上を右に糞の門をさして進んだ。

ネヘミ12:32 そのあとに従って進んだ者はホシャヤ、およびユダのつかさたちの半ば、

ネヘミ12:33 ならびにアザリヤ、エズラ、メシュラム、

ネヘミ12:34 ユダ、ベニヤミン、シマヤ、エレミヤであった。

ネヘミ12:35 また数人の祭司がラッパをもって従った。すなわちヨナタンの子ゼカリヤ。ヨナタンはシマヤの子、シマヤはマッタニヤの子、マッタニヤはミカヤの子、ミカヤはザックルの子、ザックルはアサフの子である。

ネヘミ12:36 またゼカリヤの兄弟たちシマヤ、アザリエル、ミラライ、ギラライ、マアイ、ネタンエル、ユダ、ハナニなどであって、神の人ダビデの楽器を持って従った。そして学者エズラは彼らの先に進んだ。

ネヘミ12:37 彼らは泉の門を経て、まっすぐに進み、城壁の上り口で、ダビデの町の階段から上り、ダビデの家の上を過ぎて東の方、水の門に至った。

ネヘミ12:38 他の1組の感謝する者は左に進んだ。わたしは民の半ばと共に彼らのあとに従った。そして城壁の上を行き、炉の望楼の上を過ぎて、城壁の広い所に至り、

ネヘミ12:39 エフライムの門の上を通り、古い者を過ぎ、魚の門およびハナネルの望楼とハンメアの望楼を過ぎて、羊の門に至り、近衛の門に立ち止まった。

ネヘミ12:40 こうして2組の感謝する者は神の宮にはいつて立った。わたしもそこに立ち、つかさたちの半ばもわたしと共に立った。

ネヘミ12:41 また祭司エリアキム、マアセヤ、ミニヤミン、ミカヤ、エリオエナひ、ゼカリヤ、ハナニやらはラッパを持ち、

ネヘミ12:42 マアセヤ、シマヤ、エレアザル、ウジ、ヨハナン、マルキヤ、エラムおよびエゼルも共にいた。そして歌うたう者たちは声高く歌った。エズラヒヤはその監督であった。

ネヘミ12:43 こうして彼らはその日、大いなる犠牲をささげて喜んだ。神が彼らを大いに喜び樂しませられたからである。女子供までも喜んだ。そこでエルサレムの喜びの声は遠くまで聞えた。

ネヘミ12:44 その日、倉のもろもろのへやをつかさどる人々を選び、ささげ者、初物、10分の1など律法の定めるところの祭司およびレビびとの分を町々の田畑にしたがって取り集めて、へやに入れることをつかさどらせた。これは祭司およびレビびとの仕えるのを、ユダびとが喜んだからで◆

12,44-1,喜んだからである。

ネヘミ12:45 彼らはダビデおよびその子ソロモンの命令に従って、神の勤めおよび清め琴の勤めをした。歌うたう者および門を守る者もそのように行った。

ネヘミ12:46 昔ダビデおよびアサフの日には、歌うたう者のかしらがりひとりいて、神にさんびと感謝をささげる事があった。

ネヘミ12:47 またゼルバベルの日およびネヘミヤの日には、イスラエルびとはみな歌うたう者と門を守る者は日々の分を与え、またレビびとに者を聖別して与え、レビびとはまたこれを聖別してアロンの子孫に与えた。

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ***:

ネヘミ13: ネヘミヤ記 第13章

ネヘミ13:1 その日モーセの書を読んで民に聞かせたが、その中にアンモンびと、およびモアブびとは、いつまでも神の会に、はいってはいならないとしるされているのを見いだした。

ネヘミ13:2 これは彼らがかつて、パンと水をもってイスラエルの人々を迎えず、かえってこれをのろわせるためにバラムを雇ったからである。しかしわれわれの神はそののろいを変えて祝福とされた。

ネヘミ13:3 人々はこの律法を聞いた時、混血の民をことごとくイスラエルから分け離した。

ネヘミ13:4 これより先、われわれの神の宮のへやをつかさどっていた祭司エリアシブは、トビヤと縁組したので、

ネヘミ13:5 トビヤのために大きなへやを備えた。そのへやはもと、素祭の物、乳香、器物および規定によってレビびと、歌うたう者および門を守る者たちに与える穀物、ぶどう酒、油10分の1、ならびに祭司のためのささげ物を置いた所である。

ネヘミ13:6 その当時、わたしはエルサレムにいなかった。わたしはバビロンの王アルタシャスタの32年に王の所へ

行ったが、しばらくたって王にいとまを請い、

ネミ13:7 エルサレムに来て、エリアシブがトビヤのためにした悪事、すなわち彼のために神の宮の庭に1つのへやを備えたことを発見した。

ネミ13:8 わたしは非常に怒り、トビヤの家の器物をことごとくそのへやから投げだし、

ネミ13:9 命じて、すべてのへやを清めさせ、そして神の宮の器物および素祭、乳香などを再びそこに携え入れた。

ネミ13:10 わたしはまたレビびとがその浮くべき分を与えられていなかったことを知った。これがためにその務をなすレビびとおよび歌うたう者たちは、おのおの自分の畑に逃げ帰った。

ネミ13:11 それでわたしはつかさたちを責めて言った、“なぜ神の宮を捨てさせたのか”。そしてレビびとを招き集めて、その持ち場に復帰させた。

ネミ13:12 そこでユダの人々は皆、穀物、ぶどう酒、油の10分の1を倉に携えてきた。

ネミ13:13 わたしは祭司シレミヤ、学者ザドクおよびレビびとペダヤを倉のつかさとし、またマッタニヤの子ザックルの子ハナンをその助手として倉をつかさどらせた。彼らは忠実な者と思われたからである。彼らの任務は兄弟たちに配分する事であった。

ネミ13:14 わが神よ、この事のためにわたしを覚えてください。わが神の宮とその勤めのためにわたしが行った良きわざをぬぐい去らないでください。

ネミ13:15 そのころわたしはユダのうちに安息日に酒ぶねを踏む者、麦束を持ってきて、ろばに負わす者、またぶどう酒、ぶどう、いちじくおよびさまざまな荷を安息日にエルサレムに運び入れる者を見たので、わたしは彼らが食物を売っていたその日に彼らを戒めた。

ネミ13:16 そこに住んでいたツロの人々もまた魚およびさまざまな品物を持ってきて、安息日にユダの人々に売り、エルサレムで商売した。

ネミ13:17 そこでわたしはユダの尊い人々を攻めて言った、“あなたがたはなぜこの悪事を行って、安息日を汚すのか”。

ネミ13:18 あなたがたの先祖も、このように行っただけで、われわれの神はこのすべての災を、われわれとこの町に下されたではないか。ところがあなたがたは安息日を汚して、さらに大いなる怒りをイスラエルの上に招くのである”。

ネミ13:19 そこで安息日の前に、エルサレムのもろもろの門が暗くなり始めた時、わたしは命じてそのとびらを閉じさせ、安息日が終るまでこれを開いてはならないと命じ、わたしのしもべ数人を門に置いて、安息日に荷を携え入れさせないようにした。

ネミ13:20 これがために、商人およびさまざまな品物売る者どもは1、2回エルサレムの外に宿った。

ネミ13:21 わたしは彼らを戒めて言った、“あなたがたはなぜ城壁の前に宿るのか。もしあなたがたが重ねてそのようなことをするならば、わたしはあなたがたを処罰する”と。そのとき以来、彼らは安息日にはこなかった。

ネミ13:22 わたしはまたレビびとに命じて、その身を清めさせ、来て門を守らせて、安息日を聖別した。わが神よ、わたしのためにまた、このことを覚え、あなたの大きいなるいつくしみをもって、わたしをあわれんでください。

ネミ13:23 そのころまた、わたしはアシドド、アンモン、モアブの女をめとったユダヤ人を見た。

ネミ13:24 彼らの子供の半分はアシドドの言葉を語って、ユダヤの言葉を語るができず、おのおのその母親の出た民の言葉を語った。

ネミ13:25 わたしは彼らを責め、またののしり、そのうちの数人を撃って、その毛を抜き、神の名をさして誓わせて言った、“あなたがたは彼らのむすこに自分の娘を与えてはならない。またあなたがたのむすこ、またはあなたがたの侍臣のために彼らの娘をめとってはならない”。

ネミ13:26 イスラエルの王ソロモンはこれらのことによって罪を犯したではないか。彼のような王は多くの国民のうちにもなく、神に愛せられた者である。神は彼をイスラエル全国の王とせられた。ところが異邦の女たちは彼に罪を犯させた。

ネミ13:27 それゆえあなたがたが異邦の女をめとり、このすべての大いなる悪を行って、われわれの神に罪を犯すのを、われわれは聞き流しにしておけようか”。

ネミ13:28 大祭司エリアシブの子ヨイアダのひとりの子はホロニびとサンバラテの婿であったので、わたしは彼をわたしのところから追い出した。

ネミ13:29 わが神よ、彼らのことを覚えてください。彼らは祭司の職を汚し、また祭司およびレビびとの契約を汚しました。

ネミ13:30 このように、わたしは彼らを清めて、異邦のものをことごとく捨てさせ、祭司およびレビびとの務を定めて、おのおのそのわざにつかせた。

ネヘミ**13:31** また定められた時に、たききの供え物をささげさせ、また初穂をささげさせた。わが神よ、わたしを覚え、わたしをお恵みください。